

## 質問に対する回答書

### 件名)首都圏中央連絡自動車道 幸手IC～境古河IC間舗装工事

番号	質問箇所	質問事項	回答
1	特記仕様書 18-2 建設副産物の活用 特記仕様書24-21-2 路面切削工の種別	特記仕様書18-2に、「建設混合廃棄物(アスファルト・コンクリート塊+床版防水)」の数量が約270m <sup>3</sup> となっています。 同じく特記仕様書24-21-2より、発生箇所は「路面切削t=8cm(A)(夜)と路面切削t=8cm(B)の既設床版面上の平均厚1cm部分」とあるので、計算すると約900m <sup>3</sup> になります。 該当する橋梁が上記項目の一部になるのであれば、項目毎の対象数量をご教授願います。	特記仕様書18-2(1)の「建設混合廃棄物(アスファルト・コンクリート塊+床版防水)」の数量記載に誤りがありました。 正しくは、約900m <sup>3</sup> になります。 上記については交付図書を訂正いたします。